

出題範囲:現在完了(完了・経験・継続)・現在完了進行形 (中3・1学期)	時間:45分	難易度:基礎
---	--------	--------

このテストのストーリー あなたが中1のときに教わったALTの Ms. Green(グリーン先生)は、2年前にオーストラリアへ帰りました。この夏、先生が日本に遊びに来ます。近況を伝え合い、経験をたずね、歓迎の計画を立て、自分の2年間の成長を伝える――すべての問題が「先生との再会のための英語」です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1 リスニング グリーン先生の音声メッセージと歓迎計画の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 グリーン先生から音声メッセージが届きました(Part A・近況の話)。そのあと2人で歓迎の計画を話します(Part B)。あなたはメモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A グリーン先生の音声メッセージ(近況の話)を聞いて、メモの空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

オーストラリアで始めたこと	(①)	週末にしていること	(②)
日本語について	(③)	今回日本でしたいこと	(④)
⑤ グリーン先生に、先生が日本を離れてからのこの2年で「あなたが続けてきたこと・経験したこと」を英語で伝えよう。(3点) 書き出し:I have _____.			

Part B グリーン先生と歓迎の計画について話しています。対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) グリーン先生が日本に着く予定の日はいつですか。	(月 日)
(2) 歓迎会でみんなで作るものは何ですか。	()
(3) グリーン先生が「以前に経験したことがある」ものはどれ? ア 寿司を作る イ 日本の祭りを見る ウ 浴衣を着る	()
(4) この対話のあと、2人が夏祭りで一緒にしそうなことはどれ?(3点) ア 寿司と浴衣を郵送する イ 浴衣を着る ウ オーストラリアへ行く	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

／20点

場面 帰国前のグリーン先生と、メッセージのやり取りをしています。おたがいの近況と経験の話です。

Ms. Green: Hi! It(①)been two years since I left Japan!
You: Hi, Ms. Green! I have (②) five centimeters since then!
Ms. Green: Amazing!(③)you ever eaten kangaroo meat?
You: No, I(④). Never!
Ms. Green: Haha. Have you (⑤) your club activities?
You: Yes. I have been a tennis club member(⑥)three years.
Ms. Green: Nice. I(⑦)been studying Japanese every day!
You: Cool! I(⑧)already booked a restaurant for us.

語群(選んで書こう。同じ語を2回使うことも):has / have / Have / haven't / grown / finished / lived / for
for チャット①～⑧・メモ⑨⑩の10か所(各2点)

つづけて、グリーン先生の近況メモです。(各2点)

Ms. Green has (⑨) in Australia since 2024. / She(⑩)visited Kyoto three times.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り グリーン先生との再会。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

／10点

場面 2年ぶりに会うグリーン先生と、いろいろな場面で英語をやり取りしています。
場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 2年ぶりにグリーン先生に会いました。Ms. Green: "How have you been?" 元気だったと答えるなら？ ア I've been great, thank you! イ I'm going to be great. ウ Yes, I have been.	()
(2) 先生を京都に案内したい。ていねいに提案する一言は？ ア Why don't we go to Kyoto together? イ Have you been to Kyoto? ウ I went to Kyoto.	()
(3) 「私はまだ富士山に登ったことがない」と伝えるなら？ ア I don't climb Mt. Fuji. イ I have never climbed Mt. Fuji. ウ I didn't climb Mt. Fuji.	()
(4) 先生に「今までに納豆を食べたことがありますか」と経験をたずねるなら？ ア Do you eat natto? イ Did you eat natto? ウ Have you ever eaten natto?	()
(5) 先生が "I've just finished a full marathon!" と言いました。おどろいて祝う一言は？ ア That's amazing! Congratulations! イ I'm sorry to hear that. ウ Have you finished yet?	()

大問4 資料の読み取り 文化体験のチラシを読んで、先生の体験えらびを手伝おう。

知技・思判表

／20点

場面 先生の滞在中に、日本文化体験のワークショップが2つあります。英語のチラシが2枚あります。

Tea Ceremony (Sado)

Date: July 21 (Mon)
Time: 2:00 p.m. – 3:30 p.m.
Place: Japanese Room
Experience a traditional tea ceremony. Please wear socks.

Calligraphy (Shodo)

Date: July 22 (Tue)
Time: 10:00 a.m. – 11:30 a.m.
Place: Art Room
Write your favorite kanji with a brush. Beginners are welcome!

グリーン先生のメッセージ "I have always wanted to write Japanese kanji with a brush. I have never tried it! I'm free on both days."

(1) チラシから読み取ろう。(各2点) ① 茶道体験の日にちは？	7月() 日	② 茶道体験に持って行くものは？	()
③ 書道体験で書くものは？	()	④ 書道体験が始まる時こくは？	(:)
(2) グリーン先生のメッセージに合う体験はどちら？(記号2点) A Tea Ceremony B Calligraphy		()	
そう考えた理由に合うものは？(3点) ア 先生は「筆で漢字を書いてみたい・まだやったことがない」と言っている。書道で筆を使って漢字を書ける イ 茶道は靴下が必要だから ウ 書道は火曜日だから		()	
(3) もう一方の体験も、先生の滞在中ならすすめられます。茶道をすすめる一言は？(3点) ア 先生は月曜も空いているので、伝統的な茶道を体験できる イ 茶道は去年で終わったのでできない		()	
(4) グリーン先生に書道をすすめる英語として合うものは？(4点) ア You can write kanji with a brush on Tuesday. Let's try it together! イ I have tried calligraphy. ウ Calligraphy is difficult.		()	

大問5 読解 1学期に学習した教科書の説明文を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表

／20点

場面 先生に「日本の教科書ではどんな文章を読むの?」と聞かれました。内容を思い出しながらかみ直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、1学期に学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 筆者の考えとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなたの経験を英語で書こう(3点) 書き出し:I have ____.	

大問6 ライティング グリーン先生に、この2年の成長(続けたこと・経験)をメッセージで書こう。 知技・思判表

／10点

場面 グリーン先生が「みんなの2年間の成長を知りたい」と言っています。あなたは先生に、この2年で続けてきたことや経験したことを伝えるメッセージを書きます。

条件 ①この2年で続けてきたこと(現在完了・継続)を1つ ②これまでに経験したこと(現在完了・経験)を1つ
書き出しヒント:I have ____ for ____./ I have ever ____.(※ふつうの経験は have + 過去分詞)

3文以上。先生が「成長したね!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、先生に伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド／? ☐ 動詞の形(have/has+過去分詞・進行はhave been+ing・for/since) ☐ 読む相手(先生)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 51点／思考・判断・表現 49点(中2よりさらに思判表へ。再会という文脈で経験・継続を統合して使わせる)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	帰国するALTの音声メッセージ(近況・経験)と歓迎計画の対話を聞く	近況・経験の聞き取り(知技)／状況からの判断・自分の2年間を書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	ALTとの再会チャット・近況メモが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で現在完了(完了・経験・継続)・現在完了進行形を正しく使う	知技	20(2点×10)
大問3	再会の場面(あいさつ・提案・経験の伝達・質問・反応)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	文化体験ワークショップのチラシ2枚を読み、ALTの希望に合う体験を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書の説明文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→筆者の主張→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／筆者の主張の理解・自分の経験の表現(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	ALTに、この2年の継続・経験(現在完了)をメッセージで書く	現在完了を使い、条件に沿って読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(グリーン先生の音声メッセージ・近況)
Hi everyone, it's Ms. Green. I have been in Australia for two years. I miss you all! (3sec)
Since I left Japan, I have started a new job at a high school. (3sec)
I have also learned to surf. I go to the beach every weekend. (3sec)
I have visited Japan once before as a tourist, but this time I really want to see my old students. (3sec)
I have been studying Japanese hard, so let's talk in Japanese too! See you soon. (3sec)

Part B(歓迎の計画の対話)
Ms. Green: I'll arrive on July 20. What are we going to do? (2sec)
You: We've planned a welcome party at school. Have you ever tried making sushi? (2sec)
Ms. Green: No, I haven't. That sounds fun! (2sec)
You: Great. We'll make sushi together. Have you ever seen a Japanese summer festival? (2sec)
Ms. Green: Yes, I have. I saw one when I lived here. But I've never worn a yukata. (3sec)
You: Then let's wear yukatas at the summer festival! (2sec)
Ms. Green: Wonderful! I can't wait. (2sec)

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①高校の新しい仕事 ②サーフィン(毎週末に海に行く) ③一生懸命に勉強している ④昔の教え子に会う ⑤例:I have played tennis for three years.(発展版は2文目に Have you learned Japanese well? など質問があれば満点) B:(1) 7月20日 (2) 寿司 (3) イ (4) イ
大問2	① has ② grown ③ Have ④ haven't ⑤ finished ⑥ for ⑦ have ⑧ have ⑨ lived ⑩ has ※⑦は「I have been studying」の現在完了進行形。⑥は継続の for(期間)。⑧は already と結び完了。 ②⑤⑨は過去分詞。許容解は採点前に決めて採点者間でそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) ア (2) ア (3) イ (4) ウ (5) ア / 発展版(あいさつの場面を除く4問):(1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア
大問4	(1) ①21日 ②靴下(socks) ③(好きな)漢字 ④10:00 (2) B / 理由:先生は「筆で漢字を書いてみたい・まだやったことがない」と言い、書道で筆を使って漢字を書ける(メッセージとチラシ両方への言及で満点、片方のみ部分点2点) (3) ア (4) ア(英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は主張の手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	2年ぶりに再会する先生に自分の成長を伝えるという目的に応じて、この2年で継続してきたこと・経験したこと(現在完了)を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(先生)が返信したくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、現在完了の形(have/has＋過去分詞)の誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。・条件に「現在完了を使って」等の言語材料の指定はしない。「この2年で続けてきたこと・経験したこと」という内容条件が現在完了の使用を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の評価)。・cの生徒への手立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Ms. Green を自校のALTや実在の設定に、文化体験を自校の地域の行事に差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	現在完了進行形が未習の学校は、大問2の⑦を I have(studied)Japanese hard. の完了・継続に差し替える。受け身も範囲なら、大問5の設問に受け身の文を1つ加えてもよい。
大問5の本文	1学期に学習した説明文・意見文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語、問4の主張設問を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。中3は入試も見すえ、思判表の比重を過半に近づける。